

## 詩の創作の実践について

対象：東京学芸大学附属世田谷中学校一年生（4学級）

指導者：荻野 聡

実践時期：2010年1月～2月

### 単元名「詩の創作を楽しもう」

教材名：「折々の詩 四編」（教育出版中1）

「わたしの好きな春の言葉」（同上）

「まだ言葉にならないものを描く」（同上）

「花の詩画集」（同上）

### **単元計画**（全11時間）

#### 第一次 詩のイメージをふくらませる

第一時 「折々の詩 四編」を鑑賞し、朗読の工夫を考えながらグループで朗読しあう。

第二時 「わたしの好きな春の言葉」を読んだ後、春夏秋冬それぞれの季節を連想させる言葉を集めて発表しあう。詩的な表現について学習する。

#### 第二次 「四行詩」を創作する

第三時 「四行詩」の構成について学習した後、四行詩を創作する。

第四時 「四行詩」を創作する。

#### 第三次 「自由詩」を創作する

第五時 「まだ言葉にならないものを描く」を読んで創作の仕方について学習した後、「自由詩」を創作する。

第六時 「自由詩」を創作する。

※「四行詩」と「自由詩」とは、提出された作品を詩集にまとめて配布した。

#### 第四次 「ポストカード」を創作する

第七時 「花の詩画集」を読み、詩とイラストとを合わせた作品について学習した後、図書館に移動して創作の手がかりとなるような資料に触れる。

※第八時以降は全て図書館で授業を行った。

第八～十時 「ポストカード」を創作する。

第十一時 展示された他の生徒の「ポストカード」を鑑賞し、自分の気に入った作品5点に対して、鑑賞文を書く。

※時間割の都合上、鑑賞は自分のクラスの作品のみとなった。